

式辞

日本には七十二候という 季節の変化を捉えた言い方が
あります。

今日、四月八日の頃は『玄鳥至る（ツバメキタル）』とい
います。

冬、東南アジアの暖かい国で過ごした燕が海を渡り、日本
にやってくる季節のことです。

ここ高山中学校にも三十四名の元気な若燕たちがやって
きてくれました。

新入生みなさん、入学おめでとうございます。

本日は、このようなよき日に、後藤村長様、有馬議長様
はじめ多くの来賓の方々、及び保護者の皆様をお迎えし、
入学式を挙行できますことに感謝申し上げます。

さて、新入生の皆さん、皆さんは今日から児童ではなく、
生徒と呼ばれます。

中学校では、皆さんへの呼び方が違うだけでなく、授業の
時間や教科ごとの先生、生徒会活動など、様々な違いがあ
ります。また、部活動もあります。

今はどの部活動に入ろうか、楽しみだったり、不安だった
りしていると思います。

そんな時、不安やわからないこと、慣れないことなどがあれば、いつでも先生方に相談してください。私たち高山中の先生たちは、皆さんがこの高山中で元気に、明るく、かしこく、逞しくなるよう全力でサポートします。

そして、もちろん二年生、三年生たちもやさしく教えてくれるはずです。安心してください。

さて、新入生を含めた全校生徒のみなさん、これから始まる中学校の生活で、次に三つ挙げる唯一無二のことを大切にしてください。

唯一無二とは、ただ一つのもの、ほかに代えられないもののことです。

その一つ目は、時間です。

時間は、誰にも平等に与えられています。また、誰にも平等になくなります。そして、誰にも平等に限りのあるものです。

これから始まる中学校生活で、一年生は三年間、二年生は二年間。そして三年生はあと一年間を大切にしてください。

二つ目は、友達です。

この高山中で一緒に過ごす友達、先輩、後輩はここでしか出会えません。そして、ほかには代えられません。ですから、高山中の友達全員を大切にしてください。私にとっても大切な高山中の生徒一人一人です。もし、誰かがいじめられているようなことがあれば、絶対に許しません。ほかには代えがたい大切な一人だからです。

最後に、三つ目は、もちろん命です。

自分の命を、他の人の命を大切にしてください。

これからの皆さんの人生ではたくさんの楽しいことや喜びがあります。それと同じように、悲しいことや苦しいこともきつと訪れます。

そんな時にも、決して命をかるく考えず、自分の命も他の人の命も大切にしてください。命はこの世で唯一無二のもの、代えることのできないものなのです。

今、お話しした三つの唯一無二のものをお互いに大切に
して、今日、新たな高山中学校をスタートさせましょう。

最後に、高山中学校全校生徒九十三名全員の、より高い
目標実現のために、ここにお集まりの皆様に、今後も暖か

いご支援とご協力をお願いし、式辞といたします。

平成三十一年 四月八日

高山村立高山中学校

校長

中澤 昌宏